

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

みんなではぐくむ健康づくり

①全世代共通の健康づくり

栄養・食生活

野菜摂取の必要性の啓発、地元産野菜の普及啓発	食育推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 健康づくり推進に取り組む飲食店等と行政が連携した取組を実施することで、野菜の摂取量増加をねらい、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 食育の日(毎月19日)や食育月間(毎年6月)において、共食の推進や野菜の摂取量の増加を促すための取り組みを実施します。食の大切さや興味を持ってもらえるような啓発に併せて、料理レシピサービスを使用し、地場産の野菜等のPRを行います。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,047千円 食育推進事業費:416千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	健康啓発推進費 2,047 食育推進事業費 416	健康啓発推進費 1,930 食育推進事業費 342	●指標 野菜摂取量の増加 ●目標値(目標年度) 令和5年度 350g ●現状値(年度) 令和4年度(最新) 244.8g	・市内協力店舗 飲食店30店舗 ・草津ベジランチ・ベジディナー提供数 約22,000食 ・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」 掲載レシピ数:232 総アクセス数:575,951 ・食育月間・食育の日の取組 デジタルサイネージや庁内放送、クックパッドでの周知等	○	2,780	・「食と運動プロジェクト」 野菜摂取量増加をねらう「草津ベジランチ・ベジディナー」を市内飲食店と連携し、健康づくりについて市民へ啓発し、健康維持や向上を図ります。 ・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」 草津市産農産物等を使ったレシピの紹介を積極的に発信していきます。 ・栄養・食生活は、一人ひとりが健康で幸せな生活を送るために必要不可欠であり、また、生活習慣病の予防・重症化予防のほか、やせや低栄養等の予防を通じた生活機能の維持・向上の観点から重要です。このことから、個人の行動と健康状態の改善に向けた適切な栄養・食生活やそのための環境づくりをすすめます。
	健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 運動講座を開催し運動の習慣化を目指した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,047千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	2,047	1,930	●指標 運動習慣者の増加 ●目標値(目標年度) 令和5年度 20～69歳男性 26.7% 20～69歳女性 23.8% 70歳以上男性 67.6% 70歳以上女性 44.4% ●現状値(年度) 令和4年度 20～69歳男性 29.9% 20～69歳女性 26.5% 70歳以上男性 44.3% 70歳以上女性 44.2%	・運動講座開催回数 3回 ・参加者に対しアンケートを実施し、評価しました。 【アンケート結果】 運動講座で学んだ内容を自宅でも継続して実施しようと思うかという問いに対して、積極的に実施したいが約7割、時々実施したいが約3割でした。	○	2,325	・「食と運動プロジェクト」 運動の習慣化を目指した運動講座を実施し、健康づくりについて市民へ啓発を行い、健康維持や向上を図ります。 ・身体活動は、体力の維持向上に加え、生活習慣病やメンタルヘルス対策等に有効です。このことから、身体活動・運動分野の取組を進めます。

歩くこと・運動

体を動かす動機付けとなる仕組みや機会の提供	健幸フェア	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 子どもから高齢者まで、幅広い世代に対して健康づくりや運動のきっかけづくりを進めていくため、ウォーキングなど日ごろ運動をしていない方でも気軽にはじめられ、幅広い層の市民が取り組みやすいスポーツイベントや、食も含めた健康づくりのきっかけづくりとイベントを実施します。 ●予算の内訳 委託料1,280千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	1,280	1,280	●指標 「健幸に暮らせている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和5年度)66.3%	・体験型健幸イベントである「みんなの健幸フェア」を開催した結果、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。(来場者数:健幸フェア2,398名)	○	1,280	・「みんなの健幸フェア」を10月6日に市制施行70周年事業として規模を拡大して実施した結果、来場者数が大幅に増え、より幅広い方々に健幸づくりの働きかけを行うことができました。
	びわこ・くさつ健幸フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうとともに、健康づくりや運動のきっかけづくりとするために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生/教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。 ●予算の内訳 委託料1,683千円(くさつ・健幸ウォークラリー) ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	1,683	1,683	●指標 「健幸に暮らせている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和5年度)66.3%	・体験型健幸イベントである「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を立命館大学と共催で開催した結果、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。(来場者数:健幸フェスタ13,017名)	○	1,683	・「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を市制施行70周年事業として11月10日に立命館大学と共同開催する予定をしており、榎平和望とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組んでいます。

評価区分の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
誰でも簡単にできる体操の普及、ウォーキングイベント等の開催				【再掲】健康啓発推進事業	健康増進課	●事業の目的・内容 運動講座を開催し運動の習慣化を目指した取組を実施することで、健康づくりの機運を高め、自然と健康になれる環境づくりへつなげます。 ●予算の内訳 健康啓発推進費:2,047千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	2,047	1,930	●指標 運動習慣者の増加 ●目標値(目標年度) 令和5年度 20～69歳男性 26.7% 20～69歳女性 23.8% 70歳以上男性 67.6% 70歳以上女性 44.4% ●現状値(年度) 令和4年度 20～69歳男性 29.9% 20～69歳女性 26.5% 70歳以上男性 44.3% 70歳以上女性 44.2%	・運動講座開催回数 3回 ・参加者に対しアンケートを実施し、評価しました。 【アンケート結果】 運動講座で学んだ内容を自宅でも継続して実施しようと思うかという問いに対して、積極的に実施したいが約7割、時々実施したいが約3割でした。	○	2,325	「食と運動プロジェクト」 ・運動の習慣化を目指した運動講座を実施し、健康づくりについて市民へ啓発を行います。 ・身体活動は、体力の維持向上に加え、生活習慣病やメンタルヘルス対策等に有効です。このことから、身体活動・運動分野の取組を進めます。
				【再掲】びわこ・くさつ健幸フェスタ	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうとともに、健康づくりや運動のきっかけづくりとすために、立命館大学と共催で、地域住民・企業・行政・学生／教職員等が集い、様々な体験ができるイベント「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、ウォーキングの楽しさやコツを学び日々のウォーキング習慣に繋げてもらえるようイベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施します。 ●予算の内訳 委託料1,683千円(くさつ・健幸ウォークラリー) ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	1,683	1,683	●指標 「健幸に暮らせている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和5年度)66.3%	・体験型健幸イベントである「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を立命館大学と共催で開催した結果、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。(来場者数:健幸フェスタ13,017名)	○	1,683	・「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を市制施行70周年事業として11月10日に立命館大学と共同開催する予定をしており、橿平和堂とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組んでいます。
				ウォーキングモデル事業の社会実装	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健幸創造都市 草津」の実現に向け、健幸への意識や関心が低い方々(健幸無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、今後、事業化を計画している市民を対象とした「歩いてもらうための仕掛けづくり」に関し、ウォーキングモデル事業(社会実験)を行う。本業務を通じて、最適歩数の設定など目標管理を行う上での裏付けの取得、デジタル技術を活用した測定・運用方法の検証等を行うとともに、事業参加者の自身の健康状態を測定し、ウォーキングの運動効果に関するエビデンスを取得する。 ●予算の内訳 ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235、「働き世代の健幸」に係る委託研究業務 5,643 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235	ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235		・立命館大学の協力の下で、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業を実施した結果、市民の行動変容を促し、健幸づくりに取り組んでもらうための方策を検討する上で必要なエビデンスの取得や課題の抽出、取組の方向性の整理等を行うことができました。	○	9,867	・R5年度に実施した社会実験のデータを用いて、今後、事業化を計画している市民を対象とした「歩いてもらうための仕掛けづくり」に関し、課題の抽出、取組の方向性の整理等を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

休養・こころの健康づくり

市民の交流 機会の創出	草津川跡地公園運営事業	草津川跡地整備課	●事業の目的・内容 にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。 ●予算の内訳 草津川跡地公園(区間2・5)指定管理104,600 ●位置付けのある関連計画等 草津川跡地利用基本計画	104,600	103,116	●指標 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 ●目標値(目標年度) 42.1%(令和6年度) ●現状値(年度) (令和5年度)36.5% (令和4年度)42.7%	・草津川跡地公園については、市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、にぎわいを創出できました。 イベント実施件数:468件 主なイベント等:KUSATSU GARDEN FES、桜まつり、くさねっこプログラム等	○	委託料(指定管理料) 104,500	・草津川跡地公園が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる魅力的な空間となるよう、指定管理者による管理運営を行い、多くの方に来園して利用いただくとともに各種イベント等の取組みや活動により、引き続きにぎわいの創出を図ります。
	地域サロン推進事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 活動支援事業補助11,014千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	11,014	10,069	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和5年度) 24.3% (令和4年度) 28.8%	・高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:148クラブ	○	11,568	地域サロン活動支援事業 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動を支援します。
相談支援体制の充実、 悩みを持つ者同士の交流の場づくり	精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●予算の内訳 精神保健福祉対策費:97千円 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画	97	38		草津市健幸都市宣言賛同企業・団体への啓発 ・睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、こころの健康を保ちながら良い仕事をするためには、どのようなことに気を付ければよいかについて、厚生労働省が紹介している「15分でわかる働く人の睡眠と健康」(eラーニング)について、情報提供を行いました。 えんえむ草津を活用した啓発 ・「こころの健康づくり」をテーマに、睡眠不足は、疲労感をもたらし、情緒を不安定にし、適切な判断を鈍らせるなど、生活の質に大きく影響することから、十分な睡眠をとり、ストレスと上手に付き合い、こころの健康を保つことの重要性について発信しました。	○	97	各種イベント等における啓発 ・睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識の普及・啓発を図ります。 草津市健幸都市宣言賛同企業・団体への啓発 ・睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、働き世代に向けた啓発を行います。 ・十分な睡眠や余暇活動は、心身の健康に欠かせないことから、睡眠や余暇が日常生活の中に適切に取り入れられた生活習慣の確立に向けた取組を進めます。
	福祉の総合相談窓口	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者だけでなく、複合的な課題を抱える方への相談支援を行い、ひきこもり等につきましては、アウトリーチを行いながら支援を実施しているところであります。また、令和4年度からは、就労支援相談員を配置し、就労支援にも力を入れ、まちづくりセンターでの出張就労相談も承っております。 ●予算の内訳 人件費など ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21、草津市地域福祉計画、	28,067	18,994		・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 559件 (うち当センターのみ511人) (実件数) うち生活困窮者自立相談 527件 総合相談 32件 (各実件数) ・住居確保給付金 20件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 4件(実件数) ・一時生活支援事業 5件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 10件(実件数) ・子どもの学習支援事業 3件(実件数)	○	26,063	・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ・生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

住まい

住宅確保困難者に対する居住支援	住居確保給付金	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 離職・休職などで収入が減少し、住居を失った、またはそのおそれがある人に対し、一定期間(原則3か月、最大9か月。)、家賃相当額(上限あり)を、市から賃貸住宅の貸主に支給します。＜R5は適用、R6は改正され、最大9か月支給で終了。＞ ●予算の内訳 扶助費 ●位置付けのある関連計画等 草津市住生活基本計画、草津市地域福祉計画	8,226	2,593		・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業において、住居確保給付金事業に取り組みました。 ・総相談件数 559件 (うち当センターのみ511人) (実件数) うち生活困窮者自立相談 527件 総合相談 32件 (各実件数) ・住居確保給付金 20件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む))	○	上記「福祉の総合相談窓口」予算のうち3,990	・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 生活困窮者自立支援事業による住居確保給付金事業についても、周知等を行い、関係機関と連携しながら支援を進めていきます。 ・生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。
-----------------	---------	----------------	---	-------	-------	-------------	--	---	-------------------------	---

たばこ・アルコール

路上喫煙者に対する啓発活動	たばこ対策事業	健康増進課	●事業の目的・内容 喫煙防止および受動喫煙防止について、さまざまな機会を捉えて知識の普及啓発を実施します。また、禁煙したい人が禁煙できるように情報提供等支援を行い、禁煙者の増加や望まない受動喫煙防止を目指します。 ●予算の内訳 たばこ対策事業(健康教育費):224千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	224	202		禁煙週間における啓発 ・市役所庁内および南草津駅のデジタルサイネージを活用した啓発を行いました。 ・草津市健康都市宣言賛同企業・団体に対し、メールで啓発を行いました。 受動喫煙防止にかかる啓発 ・「望まない受動喫煙の社会の実現」を図るため、庁内関係所属と連携し、ポスター掲示など啓発を行いました。	○	175	禁煙や受動喫煙防止にかかる啓発 ・広報紙やSNS等を活用し、喫煙や受動喫煙が心身に及ぼす影響に関する情報提供を行います。 ・喫煙は、がん、循環器疾患、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、糖尿病に深く関連することから、喫煙率の低下や受動喫煙防止に向けた取組を進めます。
	路上喫煙対策事業	生活安心課	●事業の目的・内容 路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図るため、路上喫煙の防止に向けた啓発を行うとともに、草津駅および南草津駅の両駅に設置する喫煙所(マナースペース)の維持管理等を行います。 ●予算の内訳 啓発委託1,227千円、喫煙所管理委託5,767千円、喫煙所整備4,400千円、その他消耗品費等973千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	12,367	9,365		・路上喫煙の防止に向けて、巡回啓発を年間282日行うとともに、清掃や機械整備等により、喫煙所の適正な維持管理に努めました。	○	8,352	・引き続き、路上喫煙の防止に向けた啓発や喫煙所の維持管理に努めます。 ・引き続き、路上喫煙禁止区域内での喫煙者のマナーの向上や望まない受動喫煙防止を図ります。

健康診査・各種けん診

健康診査やがん検診等の受診率向上対策	各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●予算の内訳 健康診査費149,652千円 特定保健指導費17,929千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21	健康診査費149,652 特定保健指導費17,929	健康診査費123,438 特定保健指導費11,947	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和5年度 胃 (50歳以上) 3.1% 肺 (40歳以上) 7.6% 大腸 (40歳以上) 6.5% 子宮 (20歳以上女性) 14.3% 乳 (40歳以上女性) 11.9% 令和4年度 胃 (50歳以上) 2.8% 肺 (40歳以上) 8.1% 大腸 (40歳以上) 7.0% 子宮 (20歳以上女性) 16.5% 乳 (40歳以上女性) 13.8% ●指標 特定保健指導実施率の向上 ●目標値(年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和5年度 11月に確定予定 令和4年度 17.3%	・がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ・医療機関での個別検診及び特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行いました、また、集団けん診については、実施回数を拡大し、web予約を導入しました。 ・ナッジ理論を活用した個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行いました。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映するとともに、イベント等の機会を通じた検診啓発を行います。	○	健康診査費145,618 特定保健指導費16,168	・がん検診・各種けん診等の実施 受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ・ナッジ理論を取り入れ、がん検診個別勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行います。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映するとともに、イベント等の機会を通じた検診啓発を行います。 特定保健指導 ・特定保健指導利用向上のため、今年度から訪問を行っています。 ・各種けん診・保健指導の実施・啓発を行い、病気の予防と早期発見に資する取組をすすめます。
--------------------	--------------------	-------	---	-------------------------------	-------------------------------	---	---	---	-------------------------------	--

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
	健康診査やがん検診等の受診率向上対策			特定健康診査 後期高齢者健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。後期高齢者健康診査については、後期高齢者医療制度加入者に対し、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受けて、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人)6,863、特定健診リーフレット等808、特定健診手数料等4,725、特定健診委託料等66,817、その他システム使用料等1,416 <後期高齢者健康診査費> 健康啓発リーフレット等260、連合会手数料等1,220、後期健診委託料等16,737 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 80,629 後期高齢者健康診査費 18,217	特定健康診査費 67,491 後期高齢者健康診査費 17,928	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) 特定健診(令和5年度)37.9%(令和4年度)39.1% 後期健診(令和5年度)35.5%(令和4年度)31.2% 後期高齢者健康診査 ・受診率向上のために広報やリーフレット作成、受診勧奨を行った結果、滋賀県全体の受診率31.1%を上回りました。	○	特定健康診査費 76,639 後期高齢者健康診査費 38,057 後期高齢者健康診査 ・令和6年度より滋賀県後期高齢者医療広域連合が除外対象者の見直しを行い、健診の対象者が大幅に増加する予定です。 (予定受診対象者数:16,450人) ・特定健康診査や後期高齢者健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。		
				【再掲】 各種がん検診事業	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 ●予算の内訳 健康診査費149,652千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	健康診査費 149,652	健康診査費 123,438	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和5年度 胃(50歳以上)3.1% 肺(40歳以上)7.6% 大腸(40歳以上)6.5% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.9% 令和4年度 胃(50歳以上)2.8% 肺(40歳以上)8.1% 大腸(40歳以上)7.0% 子宮(20歳以上女性)16.5% 乳(40歳以上女性)13.8% 「ナッジ理論を活用した個別勧奨・再勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行いました。」 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映するとともに、イベント等の機会を通じた検診啓発を行います。	○	健康診査費 145,618 がん検診・各種けん診等の実施 ・受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ・ナッジ理論を取り入れ、がん検診個別勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行います。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 ・「集団検診予約枠を拡大するとともに託児支援を行います。」 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映するとともに、イベント等の機会を通じた検診啓発を行います。		
				けん診を受けやすい環境の整備		●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人)6,863、特定健診リーフレット等808、特定健診手数料等4,725、特定健診委託料等66,817、その他システム使用料等1,416 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 80,629	特定健康診査費 67,491	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) 特定健診(令和5年度)37.9%(令和4年度)39.1%	○	特定健康診査費 76,639 特定健康診査 ・令和6年度より滋賀県後期高齢者医療広域連合が除外対象者の見直しを行い、健診の対象者が大幅に増加する予定です。 (予定受診対象者数:16,450人) ・特定健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。		

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

②世代ごとの健幸づくり

子育て世代(親:妊娠・出産・子育て期、子:乳幼児期)

妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談・支援体制	総合相談事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 母子健康手帳の交付では妊婦の心身の状況の把握をするとともに不安や心配の軽減・解消を図り、妊婦自身およびパートナーや子どもの健康の保持増進について考える機会となるよう、全妊婦と面談を実施します。必要があれば個別支援プランを作成し、切れ目ない支援につなげます。また、妊産婦・子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供や相談支援を実施し、不安や心配の解消・軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。 ●予算の内訳 総合相談事業費(民生費):3,339千円 総合相談事業費(衛生費):1,798千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・子育て支援事業計画、第二次草津市障害者計画	5,137	4,715		・妊娠、出産、子育てにおいて情報提供や相談支援を行い、不安軽減や必要なサービス利用の調整の支援を行いました。 相談者数:2,183人(延べ)	○	5,148	・妊娠や出産および子育てに関する情報提供や相談支援を通して不安の軽減を図り、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援します。
	妊婦健診事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 妊婦健診にかかる費用を公費にて助成し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。 ●予算の内訳 妊婦健診費事業:96,615千円 ●位置付けのある関連計画等 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画、第二次草津市障害者計画	96,615	99,406	●指標 妊婦健診受診券発行者数 ●目標値(目標年度) 1,181人(R6) ●現状値(年度) (令和5年度)1,220人 (令和4年度)1,216人	・計画と概ね差異なく妊婦健診受診券を発行し、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できるように支援しました。 妊婦健診受診券発行者数:1,220人 受診実人数:1,775人 受診延人数:12,908人	○	120,732	・妊婦の健康の保持増進を図るため、必要時医療機関と連携し妊婦の健康管理を行います。 妊婦健診受診券発行者数:1,181人
	新生児訪問事業	子育て相談センター	●事業の目的・内容 概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況を把握し、育児等に係る相談、指導等の支援を行います。また、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図ります。 ●予算の内訳 新生児訪問事業:13,753千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・子育て支援事業計画	13,753	11,192	●指標 訪問数 ●目標値(目標年度) 1,112件(R6) ●現状値(年度) (令和5年度)1,094件 (令和4年度)1,045件	・R5年度は出産・子育て応援給付金の開始の影響により、訪問率が上昇しました。対象者のうち転出者が転出先で訪問を希望されたこと、1件の訪問拒否があったことによりこのような訪問実績となりました。新生児訪問事業により把握した養育に支援の必要なケースに対しては、その後訪問や電話や母子保健事業を通して継続して支援を行いました。 対象者数 1,113件 訪問件数 1,094件 訪問率 98.3%	○	15,551	・育児への助言等を行い、不安の軽減を図ります。また、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。 訪問見込み件数 1,150件
	子育て拠点の整備や運営体制の強化	子育て相談センター	●事業の目的・内容 子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、ふれあいながら相互に交流を図る場を提供します。また、育児相談、イベントの開催、園児との交流、情報提供を行います。 ●予算の内訳 児童館運営事業:9,407千円 つどいの広場運営事業:3,995千円 子育て支援センターほかほかタウン、地域子育て支援センター、地域子育て支援拠点施設運営事業:27,859千円 子育て支援拠点施設運営事業:55,398千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・子育て支援事業計画、第二次草津市障害者計画	96,659	95,128	●指標 延べ利用者数 ●目標値(目標年度) 92,349人(R6) ●現状値(年度) (令和5年度)107,267人 (令和4年度)89,252人	・子育て家庭の親と子が気軽に集い、交流する場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行い、子どもの健やかな育ちを支援しました。 各施設延べ利用者数 児童館運営事業:3,014人 つどいの広場運営事業:2,778人 子育て支援センターほかほかタウン:10,724人 地域子育て支援センター:14,462人 地域子育て支援拠点施設運営事業:76,289人	○	100,213	・子育て家庭の親と子が気軽に集い、交流する場の提供を行うとともに、育児相談や情報提供等を行い、子どもの健やかな育ちを支援していきます。また、育児相談をしやすい環境づくりができるよう努めます。 見込利用者数 92,349人 (子育て相談センター、地域子育て支援センター、つどいの広場、子育て支援拠点施設)

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

児童・学生世代(少年期・青年期)

不登校・ひきこもり等への相談・復帰支援	子ども・若者育成支援推進事業	子ども家庭・若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者とその家族を適切な支援につなげるため、子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱える子ども・若者や家族の自立を支援します。 ●予算の内訳 子ども・若者総合相談窓口運営費等:5,203 子ども・若者支援協議会運営費:130 子ども・若者ケアラー家庭支援モデル検討事業費:621 子ども・若者の居場所運営委託費:4,267 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・若者計画	10221	9,354		・子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援として、モデル事業を実施しました。また、不登校やひきこもり等の課題を抱える子ども・若者を対象とした居場所を設置しました。 主な実績 ・子ども・若者ケアラー支援のモデル事業として配食支援制度開始(8月～)、ヘルパー派遣制度開始(10月～) ・子ども・若者の居場所の開設・運営(8月～)	○	13,050	・子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営、子ども・若者ケアラーへの支援、子ども・若者の居場所運営事業を継続するとともに、事業内容の改善に向けた検討を行います。 また、子ども食堂運営者が安心して継続運営するための環境を整えます。
子どもの貧困対策、孤独・孤立化対策	フリータイム(居場所づくり事業)	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助している ●予算の内訳 - ●位置付けのある関連計画等 -	3,845	3,845		・ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助しました。	○	3,845	・ひきこもり傾向にある若者等の社会参加を図るため、居場所や活動の場の提供をする事業所に補助します。
	【再掲】子ども・若者育成支援推進事業	子ども家庭・若者課	●事業の目的・内容 社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者とその家族を適切な支援につなげるため、子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱える子ども・若者や家族の自立を支援します。 ●予算の内訳 子ども・若者総合相談窓口運営費等:5,203 子ども・若者支援協議会運営費:130 子ども・若者ケアラー 家庭支援モデル検討事業費:621 子ども・若者の居場所運営委託費:4,267 ●位置付けのある関連計画等 草津市子ども・若者計画	10221	9,354		・子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援として、モデル事業を実施しました。また、不登校やひきこもり等の課題を抱える子ども・若者を対象とした居場所を設置しました。 主な実績 ・子ども・若者ケアラー支援のモデル事業として配食支援制度開始(8月～)、ヘルパー派遣制度開始(10月～) ・子ども・若者の居場所の開設・運営(8月～)	○	13,050	・子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営、子ども・若者ケアラーへの支援、子ども・若者の居場所運営事業を継続するとともに、事業内容の改善に向けた検討を行います。 また、子ども食堂運営者が安心して継続運営するための環境を整えます。

働き世代(壮年期、中年期)

睡眠の重要性・ストレス対処法等に係る啓発	【再掲】精神保健福祉対策	健康増進課	●事業の目的・内容 精神疾患の発病予防や市民の精神的健康の保持および増進を図るため、保健・福祉・医療等関係機関と連携を図り、こころの健康相談を行います。 ●予算の内訳 精神保健福祉対策費:97千円 ●位置付けのある関連計画等 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律健康くさつ21、草津市自殺対策行動計画	97	38		草津市健康都市宣言賛同企業・団体への啓発 ・睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、こころの健康を保ちながら良い仕事をするためには、どのようなことに気を付ければよいかについて、厚生労働省が紹介している「15分でわかる働く人の睡眠と健康」(eラーニング)について、情報提供を行いました。 えふえふ草津を活用した啓発 ・「こころの健康づくり」をテーマに、睡眠不足は、疲労感をもたらし、情緒を不安定にし、適切な判断を鈍らせるなど、生活の質に大きく影響することから、十分な睡眠をとり、ストレスと上手に付き合い、こころの健康を保つことの重要性について発信しました。	○	97	各種イベント等における啓発 ・睡眠の重要性や生活リズムに関する正しい知識の普及・啓発を図ります。 草津市健康都市宣言賛同企業・団体への啓発 ・睡眠は、体だけでなくこころの健康に深く関わっていることから、働き世代に向けた啓発を行います。 ・十分な睡眠や余暇活動は、心身の健康に欠かせないことから、睡眠や余暇が日常生活の中に適切に取り入れられた生活習慣の確立に向けた取組を進めます。
----------------------	--------------	-------	--	----	----	--	---	---	----	--

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
			特定健診・がん検診等の受診率向上対策	【再掲】各種がん検診事業 特定保健指導	健康増進課	●事業の目的・内容 がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を目的に、対象年齢の市民に対し、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施するため、地域の医療機関および特定健診会場での同時実施が可能な集団けん診会場での検診体制を整えます。 特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高いと判断された方に対して生活改善の指導を実施します。 ●予算の内訳 健康診査費149,652千円 特定保健指導費17,929千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業実施計画(特定健康診査等実施計画・データヘルス計画)、健康くさつ21	健康診査費 149,652 特定保健指導費 17,929	健康診査費 123,438 特定保健指導費 11,947	●指標 がん検診の受診率の向上 ●目標値(目標年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和5年度 胃(50歳以上)3.1% 肺(40歳以上)7.6% 大腸(40歳以上)6.5% 子宮(20歳以上女性)14.3% 乳(40歳以上女性)11.9% 令和4年度 胃(50歳以上)2.8% 肺(40歳以上)8.1% 大腸(40歳以上)7.0% 子宮(20歳以上女性)16.5% 乳(40歳以上女性)13.8% ●指標 特定保健指導実施率の向上 ●目標値(年度) 60%(令和17年度) ●現状値(年度) 令和5年度 11月に確定予定 令和4年度 17.3%	がん検診・各種けん診等の実施 ・受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ・ナッジ理論を取り入れ、がん検診個別勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行います。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 ・集団検診予約枠を拡大するとともに託児支援を行います。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映するとともに、イベント等の機会を通じた検診啓発を行います。 特定保健指導 特定保健指導利用向上のため、今年度から訪問を行っています。 ・各種けん診・保健指導の実施・啓発を行い、病気の予防と早期発見に資する取組をすすめます。	○	健康診査費 145,618 特定保健指導費 16,168	がん検診・各種けん診等の実施 ・受診率の向上に向け、検診が受診しやすい環境づくりを行うとともに、対象者に合わせた受診勧奨を行います。 ・ナッジ理論を取り入れ、がん検診個別勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行います。 ・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。 ・イオンシネマや市SNS公式アカウントで、がん検診啓発動画を放映しました。
			特定健診・がん検診等の受診率向上対策	【再掲】特定健康診査	保険年金課	●事業の目的・内容 特定健康診査については、個別健診と集団けん診を併用して特定健診を実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付し、受診率の向上を目指します。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケートの実施、集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行います。 ●予算の内訳 <特定健康診査費> 会計年度任用職員人件費(2人)6,863、特定健診リーフレット等808、特定健診手数料等4,725、特定健診委託料等66,817、その他システム使用料等1,416 ●位置付けのある関連計画等 草津市国民健康保険保健事業推進計画(データヘルス計画・特定健康診査等実施計画)	特定健康診査費 80,629	特定健康診査費 67,491	●指標 特定健診受診率 ●目標値(目標年度) 特定健診60.0%(令和11年度) ●現状値(年度) 特定健診 (令和5年度)37.9% (令和4年度)39.1%	特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(10回)を併用して特定健診を実施しました。 ・対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付しました(7月11,579人、9月7,744人、12月11,031人)。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発やアンケート配布を実施しました(配布枚数約400枚)。 ・集団けん診会場で健康啓発ブースを設置しました(6回)。	○	特定健康診査費 76,639	特定健康診査 ・個別健診と集団けん診(10回)を併用して特定健診を実施します。 ・集団けん診では、託児サービスを実施し、若い世代のけん診受診の機会を確保します。 ・集団けん診を電子申請も併用して受付けます。 ・対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付を行います。 ・生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場で健康啓発ブースを設置します。 ・特定健康診査を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持および向上を図ります。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

高齢世代(高年期)

高齢者の生きがいづくり	老人クラブ活動費補助事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加や生きがいづくり等の推進のため、また、高齢者が身近な場所で支え合う関係づくりができるよう、老人クラブ活動への支援に取り組むとともに、老人クラブが実施する事業に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 老人クラブ活動補助1,251千円、老人クラブ連合会活動補助1,301千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	2,552	2,434	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和5年度) 24.3%(令和4年度) 28.8%	・高齢者がいきいきと充実した生活が送れるよう補助金交付等を行った結果、高齢者福祉の増進が図れました。 老人クラブ活動費補助金…クラブ数:37クラブ	○	2,435	老人クラブ活動費補助事業 ・高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりや地域の見守り活動等を行う老人クラブの活動を支援します。
	【再掲】地域サロン推進事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、地域サロン活動への支援に取り組むとともに、地域サロンの開催に要する経費の一部を補助します。 ●予算の内訳 活動支援事業補助11,014千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	11,014	10,069	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和5年度) 24.3%(令和4年度) 28.8%	・高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるよう補助金交付等を行い、高齢者福祉の増進に寄与しました。 地域サロン活動支援事業補助金…地域サロン数:148クラブ	○	11,568	地域サロン活動支援事業 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、高齢者の生きがいづくりや、社会交流の活性化を推進できるように地域サロン活動を支援します。
フレイル予防対策(啓発を含む)	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図る。 ●予算の内訳 出前講座講師報償金240千円、消耗品費171千円、通信運搬費204千円、健康教室等委託料1,119千円、コピー使用料16千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	1,750	1,660	/	・ポピュレーションアプローチとして、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施しました。 ハイリスクアプローチとして、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や健康状態不明者に対し健康状態の把握と保健指導等を行いました。これらを併せて実施することにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図りました。 【R5実績】ハイリスクアプローチ 介入者:31人 【R5実績】ポピュレーションアプローチ ・フレイル講座(保健師):14回284人 ・オーラルフレイル講座(歯科衛生士):13回192人 ・おでかけリハ職(理学療法士・作業療法士):17回267人 ・おでかけ栄養士(栄養士):9回130人	○	1,312	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 ・地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導の実施、保健師等の専門職による口腔機能のリスク者や健康状態不明者に対し、健康状態の把握と保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。
フレイル予防対策(啓発を含む)	地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操・草津歯・口からこんには体操)	長寿いきがい課	●事業の目的・内容 高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんには体操の普及および活動の継続支援を行います。 ●予算の内訳 会計年度職員の報酬・職員手当等5,769千円、研修等旅費52千円、郵便代348千円、消耗品費等1,553千円 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	7,722	7,327	●指標 「いきいきとした高齢社会の実現」についての満足度 ●目標値(目標年度) 34.0%(令和8年度) ●現状値(年度) (令和5年度) 24.3%(令和4年度) 28.8%	・介護予防(いきいき百歳体操、草津歯口からこんには体操、転倒予防)に取組む団体への立ち上げ、継続支援を行いました。 【R5実績】 ・いきいき百歳体操:127団体 ・草津歯口からこんには体操:107団体 ・転倒予防体操:56団体 いきいき百歳体操サポーター、転倒予防サポーター、脳活リーダーの養成 【R5実績】 ・いきいき百歳体操:4人(延303人) ・転倒予防:7人(延187人) ・脳活リーダー:11人(延254人)	○	8,529	地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操・草津歯・口からこんには体操) ・高齢者の社会参加の促進と高齢者がいきいきと生活し続ける地域づくりを目的に高齢者の身近な地域でいきいき百歳体操、草津歯・口からこんには体操の普及および活動の継続支援を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

健幸につながるまちづくり

③支え合いのまちづくり

地域共生社会の推進

包括的な相談・支援体制の整備、参加支援の推進	重層的支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースの支援について、多機関協働として人とくらしのサポートセンターが総合調整役となり、関係課・関係機関で支援チームを構成し、それぞれの役割分担や支援の方向性を検討して支援を行います。また、自ら支援につながる方が難しい方に対し、長期的な寄り添いによるアウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することで、地域や社会への参加へと繋がります。 ●予算の内訳 多機関協働事業2,278、アウトリーチ支援事業6,973、参加支援事業6,820 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域福祉計画、各種福祉関連計画(児童・高齢者・障害・困窮等)	16,071	13,310		・令和5年度から新規事業として重層的支援体制整備事業を開始したことにより、コーディネート会議等の実施や、関係課・関係機関へ事業内容等の説明や事業の必要性について周知し、複雑化・複合化した課題のある世帯や狭間の課題があるケースへの対応ができる包括的な支援体制の構築へつなげました。 ・コーディネート会議開催数 40回	○	17,798	重層的支援体制整備事業 ・多機関協働事業により既存の支援関係機関のサポートや役割の調整を行うとともに、アウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することで、包括的な支援体制の構築へつなげます。 ・複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースへの対応が可能となり、自ら支援につながる方が難しい方の、地域や社会参加へとつなげます。
包括的な相談・支援体制の整備、参加支援の推進	【再掲】福祉の総合相談窓口	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 人とくらしのサポートセンターでは、「福祉の総合相談窓口」として、生活困窮者だけでなく、複合的な課題を抱える方への相談支援を行い、ひきこもり等につきましては、アウトリーチを行いながら支援を実施しているところであります。また、令和4年度からは、就労支援相談員を配置し、就労支援にも力を入れ、まちづくりセンターでの出張就労相談も承っております。 ●予算の内訳 人件費など ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21、草津市地域福祉計画、	28,067	18,994		・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」として、多様で複合的な悩みなどの相談に対し、関係課・関係機関と連携を図りながら支援を行いました。また、市民への周知を図るため、ホームページや広報くさつへの掲載等を実施いたしました。 ・生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・総相談件数 559件 (うち当センターのみ511人) (実件数) うち生活困窮者自立相談 527件 総合相談 32件 (各実件数) ・住居確保給付金 20件 (実件数(延長、再延長、再々延長含む)) ・就労準備支援事業 4件(実件数) ・一時生活支援事業 5件(実件数、延長含む) ・家計改善事業 10件(実件数) ・子どもの学習支援事業 3件(実件数)	○	26,063	・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者を含む多様な課題について相談を受け本人と一緒に情報を整理するとともに関係機関との連携を密にし、必要な支援に繋ぎ課題解決に向けて進めていきます。 ・生活困窮者に限らず、複合的な課題を抱えた人たちの、多様化、複雑化する福祉ニーズに対応した相談支援を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
			男女共同参画社会の構築	男女共同参画における相談事業	男女共同参画センター	●事業の目的・内容 家庭関係やDVなど、さまざまな課題・困難をかかえる方の相談支援を行い、必要な方には専門家による女性のためのカウンセリングを実施します。また、貧困・孤独により不安を抱える女性に生理用品等の提供を通じた寄り添い支援や居場所づくりに取り組みます。 ●予算の内訳 ・男女共同参画相談員の設置3,397 ・カウンセリング事業の委託(託児委託含む)643 ・つながりサポート事業3,207 ・女性の居場所づくり事業168 ●位置付けのある関連計画等 第4次草津市男女共同参画推進計画	7,415	7,321	・本人に向け同行を含むワンストップ支援を行うことができました。 ・カウンセラーによる専門相談を通じて、複雑な課題を持つ方への相談支援体制を強化できました。 ・生理用品の提供を通じて、相談先の周知や、地域の支援につなげることができました。 ・女性の居場所づくり事業によって、参加者同士のつながりや、相談窓口の周知を図ることができました。 ・男女共同参画相談窓口 相談件数(延べ):200件 DV相談をはじめ総合相談など電話や面談による相談対応を行いました。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 相談人数(延べ):46人 女性カウンセラーによる女性を対象とした面接相談を行いました。 ・つながりサポート事業 生理用品提供数:858セット 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行いました。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施 参加人数(延べ):約106人 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができる居場所をつくり、女性がつながり・不安・孤独の解消を図りました。	○	8,486	・家庭関係やDV、その他さまざまな困難を抱える方の相談支援を通じ、男女ともに安心して持てる力を発揮できるよう支援します。また、困難を抱える女性が安心してかつ自立して暮らせるよう関係課と連携した支援を行います。 ・男女共同参画相談窓口 随時実施 DVなどの困難な問題・不安を抱える方への相談支援、困難を抱える女性を行います。 ・カウンセリング事業 相談日:第1水曜、第3土曜(各50分の3枠) 対人関係、家族関係、自分の生き方など、様々な悩み・課題を抱えている女性を対象にカウンセラーによるカウンセリング事業を行います。 ・つながりサポート事業 草津市社会福祉協議会へ業務委託を行い、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性へ、生理用品等の提供を行います。また、生理用品の提供を通じて各種サービスや地域の支援につなげるなど寄り添った支援を行います。 ・女性の居場所づくり事業 年6回実施予定 まちのコミュニティハブツナグと協働委託契約の上、誰もが気軽に集い、話ができるサロンを開催します。	

地域での健康づくり

地域ごとの健康課題の把握と共有	【再掲】生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	●事業の目的・内容 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、まちづくり協議会等の地域を代表する組織、NPO法人、民間企業、ボランティア団体、その他地域で活動する地縁組織など、地域における支え合い活動を担う多様な事業主体と連携しながら、高齢者の日常生活上の支援体制の充実および強化ならびに高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的といたします。 ●予算の内訳 第2層生活支援体制整備事業委託料 20,737 生活支援体制整備事業促進システム導入費 1,870 生活支援体制整備事業促進システム利用料 660 ●位置付けのある関連計画等 草津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン計画)	23,267	23,157	・地域住民と医療・介護・福祉の関係者が集まり、高齢者の課題解決に向けた取り組みとして、介護事業所の活動と地域活動との連携についての検討や、地域資源マップの作成開始、認知症高齢者の見守りネットワークの強化などを実施できた学区もありました。 医療福祉を考える会議開催学区 R5:13学区 ・また、生活支援体制整備事業促進システムの導入および活用にかかる協議を重ねることによって、地域のインフォーマルサービスや地域資源の可視化を図り、関係者間の課題共有の円滑化や連携強化による地域づくりに活用できるような体制を整えました。	○	23,950	生活支援体制整備事業 ・市社会福祉協議会に配置する生活支援コーディネーターを中心に、学区の実情に応じた地域の支え合い活動の推進を図っていきます。また、生活支援体制整備事業促進システムの充実化を図り、地域づくりに活用できるツールとなるよう調整していきます。 ・生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域の多様な主体が参画する医療福祉を考える会議にて関係者間の情報共有と連携を推進し、高齢者が暮らしやすい環境づくりをすすめます。
健康推進員の育成・活動環境の充実	健康推進員活動費	健康増進課	●事業の目的・内容 健康推進員の養成講座において、食育に関する知識の普及と、健康な食事について調理実習を行い、地域の健康づくりのリーダーとして活動するための正しい知識の習得を目指します。また、現任研修では、新たな知識の習得と普及啓発に向けて講演会や学習会を実施します。 ●予算の内訳 健康推進員活動費 1,822千円 ●位置付けのある関連計画等 健康くさつ21	1,822	1,718	●指標 健康推進員数の増加 ●目標値(目標年度) 令和5年度 205人 ●現状値(年度) (令和5年度)174人 (令和4年度)172人	○	1,813	健康推進員活動 ・広報くさつでの周知や、市役所内で健康推進員について啓発を行い、地域における健康づくりを推進するためのリーダーとなる健康推進員を市民より募り、養成するための講座を開催しています。健康推進員に対しては、各分野の有識者の講演や専門職者による講義、管理栄養士指導の下で調理実習を行うなど、健康づくりについでさらに関心と理解を深めるとともに資質の向上を図り、よりよい健康づくり活動へ繋げる現任研修を実施します。 ・行政と地域のパイプ役として幅広く、地域に根差したボランティア活動を健康推進員に行ってもらうことで市民の健康保持・増進をすすめます。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

④行動変容につながるまちづくり

コンパクト・プラス・ネットワーク

地域公共交通網の充実	まめバス、まめタク事業	交通政策課	●事業の目的・内容 草津市内における移動手段を確保するため、路線バスが運行できない交通不便地に「まめバス」を運行し、「まめバス」でも運行できない地域においては、「まめタク」を運行することにより、費用対効果の高い、高齢化社会において将来持続可能な公共交通の充実を目指す。 ●予算の内訳 まめバス運行補助金:89,960 まめバス車両購入補助金:11,538 まめタク運行補助金:3,378 ●位置付けのある関連計画等 草津市地域公共交通計画(R6、4までは草津市地域公共交通網形成計画)	104,876	102,311	●指標 公共交通の利便性に満足している市民の割合 ●目標値(目標年度) 47.0%(2028年度)(※草津市地域公共交通網形成計画(R6,4まで)) 55.4%(2033年度)(※草津市地域公共交通計画(R6,5から)) ●現状値(年度) (令和5年度) 47.6%(令和4年度) 45.9%	・草津市地域公共交通網形成計画に基づき、市内の交通不便地における移動手段を確保し、地域の活性化を図るため、コミュニティバス「まめバス」の運行およびデマンド型乗合タクシー「まめタク」の運行を行うとともに、バス事業者の運転者不足や労働時間改善基準の改正による「2024年問題」等により、令和6年4月からの運行継続が困難となっていたまめバス「笠縫東常盤線」および「山田線」について、路線の再編を検討しました。その結果、令和6年4月から当該まめバス路線を一部短縮することで運行を継続するとともにまめタクを笠縫東学区・常盤学区で4路線、山田学区で3路線を新たに導入することとし、交通不便地の解消に向けた交通まちづくりの推進を図ることができました。	○	118,637	・令和6年度に、草津市地域公共交通網形成計画の発展版として、草津市地域公共交通計画を策定しました。 ・草津市地域公共交通計画に基づき、引き続き市内の交通不便地における移動手段を確保し、地域の活性化を図るため、コミュニティバス「まめバス」の運行およびデマンド型乗合タクシー「まめタク」の運行を行います。また、まめバスにおいてキャッシュレス決済や検索・乗降カウントシステムの導入を行う予定です。
歩道のバリアフリー化	歩行空間バリアフリー化事業	道路課	●事業の目的・内容 市民の誰もが自由に移動できる環境を創造し、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を目指して策定した草津市バリアフリー基本構想の推進を図ります。 「すべての人か心地よく移動できるまち「草津」」を基本理念とし、事業を「短期」「中期」「長期」に分け、「草津駅周辺」および「南草津駅周辺」の2地区を重点整備地区として設定し、重点的にバリアフリー化事業を実施します。 ●予算の内訳 工事請負費20,000 ●位置付けのある関連計画等 草津市バリアフリー基本構想	20,000	6,950 R6へ一部繰り越し		・西渋川南3号線他歩道改良工事(L=0.3km ※繰越工事のため、現場完了はR6)を実施することにより、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めることができました。 ※工事内容・勾配調整、幅員拡大、グレーディング取り換え(荒い目から細かい目への変更)	○	32,406	・下記の工事により、公共スペースのバリアフリー化と歩行者の安全確保を進めます。 ・川原波川線他歩道改良測量設計業務 L=0.7km ・西渋川南3号線他歩道改良工事 L=0.5km ・西渋川南3号線他歩道改良工事 L=0.3km(繰越分)

産学公民連携

健康分野に関する民間・大学との共同調査研究・社会実験	立命館大学との共同研究事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健康創造都市 草津」の実現に向け、健康への意識や関心が低い方々(健康無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、働き世代を被験者としたモニタリング調査(健康観察)を行い、本業務を通じて、心身の健康状態を表す「簡易的指標」の開発およびそれに連動した運動プログラム等の開発を目指す。 ●予算の内訳 「働き世代の健康」に係る委託研究業務 5,643 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	「働き世代の健康」に係る委託研究業務 5,643	「働き世代の健康」に係る委託研究業務 5,643		・立命館大学の協力の下で「働き世代の健康」に関する共同研究を実施した結果、市民の行動変容を促し、健康づくりに取り組んでもらうための方策を検討する上で必要なエビデンスの取得や課題の抽出、取組の方向性の整理等を行うことができました。	○	9,867	・「働き世代の健康」に関する共同研究として、R5年度のデータを活用のうえ、働き世代を被験者(75名)とした運動介入を実施し、心身の健康状態を表す「簡易的な指標(FOV)」と連動した効果的な運動プログラム等の開発に取り組めます。
デジタル技術を活用した健康づくり	【再掲】ウォーキングモデル事業の社会実装	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健康創造都市 草津」の実現に向け、健康への意識や関心が低い方々(健康無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、今後、事業化を計画している市民を対象とした「歩いてもらうための仕掛けづくり」に関し、ウォーキングモデル事業(社会実験)を行う。本業務を通じて、最適歩数の設定など目標管理を行う上での裏付けの取得、デジタル技術を活用した測定・運用方法の検証等を行うとともに、事業参加者の心身の健康状態を測定し、ウォーキングの運動効果に関するエビデンスを取得する。 ●予算の内訳 ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235、「働き世代の健康」に係る委託研究業務 5,643 ●位置付けのある関連計画等 草津市健康都市づくり基本方針	ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235	ウォーキングモデル調査・研究業務 4,235		・立命館大学の協力の下で、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業を実施した結果、市民の行動変容を促し、健康づくりに取り組んでもらうための方策を検討する上で必要なエビデンスの取得や課題の抽出、取組の方向性の整理等を行うことができました。	○	9,867	・R5年度に実施した社会実験のデータを用いて、今後、事業化を計画している市民を対象とした「歩いてもらうための仕掛けづくり」に関し、課題の抽出、取組の方向性の整理等を行います。

◆基本方針	◆基本施策	◆施策分野	◆施策の方向性	◆事業名	◆担当課	◆事業概要(金額の単位:千円)	◆R5予算(千円)	◆R5決算(千円)	◆成果指標	◆R5実績	◆評価区分	◆R6予算(千円)	◆R6事業計画
-------	-------	-------	---------	------	------	-----------------	-----------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---------

情報発信

「健幸都市づくり」に関する情報発信の強化	「健幸都市くさつ」広報・啓発事業	健康福祉政策課	●事業の目的・内容 市民や市を訪れる人等に対し、「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうため、「健幸都市くさつ」啓発・PR用動画の製作・放映、謎解きウォーキングイベント等を実施し、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。このことにより、「健幸都市くさつ」の知名度を向上させるとともに、市民の健幸に対する意識を高めます。 ●予算の内訳 横断幕製作費64、缶バッチ作成費112、啓発事業委託4,697、横断幕設置・保守管理業務委託154、動画放映1,254 ●位置付けのある関連計画等 草津市健幸都市づくり基本方針	6,281	6,360	●指標 「健幸に暮らせている」と思う市民の割合 ●目標値(目標年度) 60.0%(令和14年度) ●現状値(年度) (令和5年度) 66.3%	・市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の制作および映画館での放映、横断幕や日めくりカレンダーの作成等に取り組んだ結果、幅広い方に健幸都市づくりの取組を知っていただき、「健幸都市くさつ」の効果的な啓発・周知(情報発信)につなげることができました。(啓発動画3本、横断幕・懸垂幕各1枚、缶バッチ1,500枚、日めくりカレンダー3,000冊、ウェットティッシュ1,400枚)	○	3,345	・新たに健幸都市くさつ公式SNSを立ち上げ、より多くの方に健幸都市づくりの取組を知っていただくとともに、健幸づくりのきっかけとしていただけるよう取り組みを進めます。
----------------------	------------------	---------	---	-------	-------	--	---	---	-------	--